



なんたん市議会だより

かけはし

No.79 / 2025.11

Contents

- 『頑張る人たち』 訪問
美山緑の少年団
- 9月議会ではこんなことが決まりました
- 常任委員会ではこんな議論になりました
- 決算特別委員会で令和6年度の決算審査を行いました

「美山緑の少年団」のみなさん
美山町白尾山から北村（かやぶきの里）に向かう道中にて

訪 問 『頑張る人たち』

美山緑の少年団

来年で結団10周年を迎えられる「美山緑の少年団」。美山町の豊かな自然環境を生かして、四季を通じてトレッキング、自然観察、植樹などさまざまな活動を続けておられます。

今回は、そんな「美山緑の少年団」の結成から今に至る活動について、ご紹介します。



2025年4月の結団式

子どもが自然に親しみ、文化や歴史に触れることで、
ふるさとの良さに気づき、誇りに思う気持ちを育みたい

どのような活動をされていますか

美山緑の少年団は、次代を担う子どもが、緑と親しみ自然を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、心豊かな人間に育っていくことを目的として活動しています。日常の活動としては、春から秋にかけて月1回程度、登山やトレッキング、植物観察などの自然体験活動を行っています。また、地域の諸団体の支援のもと、苗木の植栽活動や防災教室な

ども実施しています。今年度は、長老ヶ岳登山や白尾山登山、夏休みには、旧大野小学校にオープンした大野虹の湖キャンプ場でテント泊によるキャンプも行いました。

活動を始められたきっかけは

平成28年4月の美山小学校開校に合わせて、それまで旧大野小学校と旧鶴ヶ岡小学校で別々に活動していた緑の少年団を統合し、美山町全域から団員を募集して出発しました。

現在は小学校3年生から中学校2年生までの39名が所属しています。指導員は美山町在住あるいは勤務するなど地域にゆかりのある方にお世話になり、今年度で10年目の節目を迎えています。

今後の展望をお聞かせください

南丹市は、豊かな自然や文化、歴史が残されていることが大きな魅力だと思います。豊かな自然に囲まれて生活している美山の子ど

もであっても、取り巻く生活環境の変化も影響して、普段の生活の中で自然と関わる機会が減ってきています。今後もさまざまな機会を通して、自然に親しんだり、文化や歴史に触れたりすることで、ふるさとの良さに気づき、誇りに思う気持ちが育まれることを願っています。

南丹市のまちづくりについて、どう思われますか

結団から10年目の節目を迎えられたのは、何よりも地域の温かい支援と協力で、子どもを地域の宝として大切に育む風土が息づいているからこそだと感謝しています。地域コミュニティを核としたまちづくりが進められてきているのだと感じています。

これからも地域に根ざし、子どもを支える応援団として活動していきたいという人たちが一人でも増えることを願っています。

南丹市や議会に望むことは

子どもが自然と触れ合うことができる里山環境が今後も多くの人の手によって持続的に維持されていくことが、豊かな体験機会の提供にもつながると思います。

これからも自然豊かで人の温もりがある暮らしに誇りを持ち、ここで生活する幸せが感じられるまちづくりを進めていただくことを望んでいます。

(取材者／河野・小中)



松山城跡登山



結団式記念植樹



白尾山登山



長老ヶ岳登山

全会計の決算を認定

一般会計 支出総額270億6311万円 黒字決算

こんな事業に使われました

美山小学校体育館改修、日吉生涯学習センター改修など



改修が完了した日吉生涯学習センター



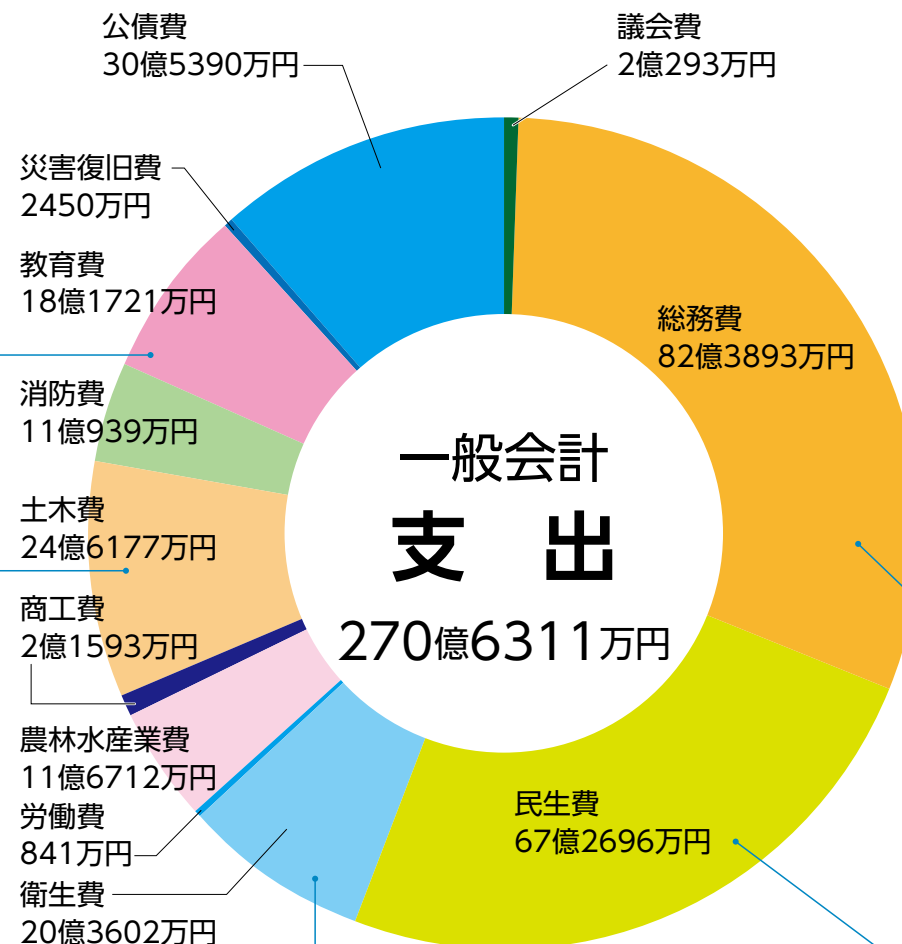
整備された道路

道路橋梁維持や八木駅西土地
区画整理事業など

健幸ポイント事業、出産子育て応援
交付金事業など



子育てを応援する「はぐくみファイル」



9月定例会は、8月26日に開会し、45日間の会期を終えて10月9日に閉会しました。

今定例会には、条例関係4件、補正予算6件、決算関係9件など全部で24件の議案が提出され、常任委員会や決算特別委員会に付託して審査したのち、本会議で採決を行いました。結果、1議案を除いて、原案どおり可決・認定しました。ここでは、決算の概要をお知らせします。



耐震改修された市役所1.2号庁舎

1. 2号庁舎の耐震改修、支所管理など



物価高騰

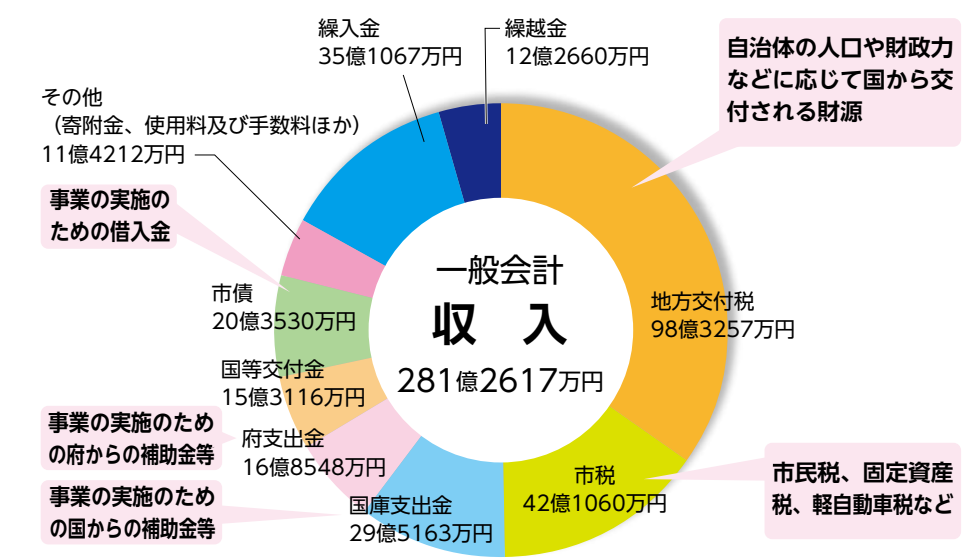
高齢者福祉事業、子ども家庭サポートセンター「Ruri」の運営、価格高騰重点支援給付金支給など

会計別決算額の状況

会計	収入 A	支出 B	差引 A-B=C	翌年度繰越額 D	実質収支 C-D
一般会計	281億2617万円	270億6311万円	10億6306万円	1億3848万円	9億2458万円
特別会計					
国民健康保険(事業勘定)	33億4929万円	33億802万円	4127万円	0	4127万円
国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億6639万円	1億6639万円	0	0	0
介護保険	44億7450万円	43億1239万円	1億6210万円	0	1億6210万円
土地取得	38万円	38万円	0	0	0
後期高齢者医療	6億4155万円	6億2816万円	1338万円	0	1338万円
合計	367億5830万円	354億7847万円	12億7983万円	1億3848万円	11億4135万円

※1万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがあります。

区分		収入 A	支出 B	差引 A-B=C	翌年度繰越額 D	損益計算による 当年度純利益(税抜き)
公営企業会計	水道	9億9914万円	9億3759万円	6155万円		4125万円
	資本的収支	2億7595万円	7億3907万円	△4億6312万円		
	下水道	24億9298万円	23億3987万円	1億5311万円		1億5247万円
	資本的収支	11億7022万円	18億3178万円	△6億6156万円		



一般会計及び各特別会計の決算総額は、歳入（収入）367億5830万9777円、歳出（支出）354億7847万7520円で、収入から支出を差し引いた形式収支額は、12億7983万2257円。このうち、翌年度に繰り越すべき財源1億3848万2000円を差し引いた実質収支額は、11億4135万257円の黒字決算です。

決算特別委員会では、こんな議論になりました



決算特別委員会とは？

一般会計、特別会計、企業会計の決算を審査するために設置される特別委員会のことです。

決算特別委員会では、3つの常任委員会と同じ構成で分科会を設け、詳しく審査します。ここでは、その概要をお知らせします。

9月18日に本委員会全体会を開催し、会計管理者から決算概要の説明を受けた後、9月19日より分科会を開催。総務・文教厚生・産業建設の各分科会で審査を実施しました。各担当部長から事業の実施概要や決算額について説明を受け、事業効果、財源の確保や予算との整合性などについて慎重に審査しました。



田園文化コミュニティセンターへの貸し付けについて」「みやま診療所の診療所離れと医療体制について」などの総括質疑がありました。各分科長の審査報告の後、討論はなく表決に入り、一般会計と国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計決算は賛成多数で、その他の4会計は賛成全員で認定されました。

地方交付税と地方特例交付金増減の要因
Q 歳入の決算額で地方交付税は6千万円ほど減っているが、地方特例交付金が1億1590万1千円増えているが、要因は。
A 5年度は国が所得税などの定額減税を行ったため、その分の市税で減額になる分が国から返ってきて増えている。税収で減った分を国が地方特例交付金として補完したことによるものである。

消防費に係る繰越明許費の事業内容

Q 消防費の繰越明許費674万8千2百円の事業内容は。
A 避難所生活環境改善事業で、トイレカーの導入、避難所生活のパーテーション、簡易テント、段ボールベッドの購入、これらを保管す



自走式仮設水洗トイレカー

る備蓄倉庫の建築と防火水槽設置に係る土地の境界確定業務である。
財政健全化プランの評価
Q 6年度の時間外勤務手当の状況について、財政健全化プランを踏まえてどう評価しているか。
A 5年度の決算額から時間を約半分に減らすことを目標に取り組んだが、減らすことができなかった。

文教厚生 分科会

環境計画推進事業
地球温暖化対策事業

Q スプリングスひよしに導入する木質バイオマスボイラーは、設置運用されているのか。
A 6年度に実施設計を実施し、7年度当初に共同提案者が撤退した。現在、近畿地方環境事務所と変更協議を進めている。事業規模を縮小し、実施を検討している。現時点では、設置できていない。

男女共同参画社会推進事業
Q 女性リーダー養成講座の参加状況と成果は。
A 7回実施し、各回平均6、7人が参加。講座では発言力の高め方や効果的な伝え方などを学んでいた。その結果、公募委員に自発的に応募するなど、まちづくりに主体的に関わる人材が増えたことを成果と考える。

医師確保奨学金等貸与事業
Q 奨学金貸与対象者の状況は。
A 対象者は1人で、医学部3年生。3年後に卒業予定であり、地域医療に携わっていただけのよう調整する。



木質バイオマスボイラー設置予定のスプリングスひよし

産業建設 分科会

合併処理浄化槽設置整備事業
Q 実績不足についての認識は。
A 設置件数は見込みを下回っており、今後は老朽化更新支援の方にシフトしていく必要があると考えている。

南丹ブランド推進助成事業
Q ブランド定着イベント事業を活用された実施詳細は。
A 4事業者であり、市文化協会が三重県での工芸展示の際に本市のものづくりブランドを発信されるため、また園部文化観光協会では小出そばの定着・普及事業、園部の若中神輿会に小出神輿というブランド定着への支援、八木町観光協会でジョアン内藤にちなんだ八木城の展開を支援した。

住宅使用料滞納分の徴収率
Q 徴収率の低下について、どう捉えているか。
A 当年度の徴収率は8・2%



南丹ブランド推進助成事業活用の一例

であり、例年より低い数字になっているため、より一層徴収に努力したい。
水道事業会計決算認定
Q 今期の有収率低下について要因は。
A ほとんどの漏水が配水管の破損によるものであり、それに伴い有収率が低下しているものと推測される。

Pick Up!
5

子育て応援住宅支援事業補助金

府の制度改正により、補助の上限額は引き下げられましたが、対象がこれまでより広がり、申請できる世帯が増え、利用件数の増加が見込まれます。



子育て応援住宅支援事業補助金

Pick Up!
6

八木バイオエコロジーセンターの設備機器更新

八木バイオエコロジーセンターでは、排水処理に使用しているポンプやモーター、送風機の老朽化が進んでおり、施設を安定して稼働させるとして更新を行います。



八木バイオエコロジーセンター

Pick Up!
7

道路路線の認定

八木駅西土地区画整理事業の換地処分が行われたことに伴い、新たに9路線を市道として認定します。

また、八木町南広瀬地区及び八木町八木東所地区において、民間企業による開発が完了したことから、それぞれの開発区域内の道路を新たに市道として認定します（南広瀬地区2路線、八木東所地区1路線）。



住宅開発に伴い新設された市道

Pick Up!
8

観光施設の多言語化案内

観光客の利便性を高めるため、既存の観光案内ホームページを改修し、多言語化対応を進めます。併せて、「かやぶきの里」と「ふらっと美山」に多言語対応の看板を設置します。看板にはQRコードを掲載し、読み取ることで多言語化されたホームページにアクセスでき、他の観光地への案内にもつながる仕組みを整えます。



多言語化案内

9月議会では こんなことが 決まりました

会期 8月26日～10月9日

◆ 議案・・・・・・・・ 24件

議会が注目した主な事業

今号では、この中から次の8つをピックアップします。

Pick Up!
1

電話通話録音の自動音声案内

市役所の電話対応において、業務の公正かつ適正な執行の確保、職員の電話対応の品質向上及びカスタマーハラスメントを含むトラブルの防止を目的として、通話内容を録音する自動音声案内が開始されます。



電話通話録音の自動音声案内

Pick Up!
2

全国瞬時警報システム（Jアラート）の機能強化

消防庁からの要請により、警報を受信する機器を新型受信機へ更新します。

これにより、災害などの緊急時における警報システムの信頼性がさらに高まり、より確実に情報を伝えられるようになります。



新型に更新予定のJアラート受信機

Pick Up!
3

旧園部幼稚園西本梅分園の解体撤去

築45年が経過し、閉園後は活用されていなかった旧園部幼稚園西本梅分園の建物について、老朽化が進み安全面での懸念があるとして解体・撤去を行います。



旧園部幼稚園西本梅分園

Pick Up!
4

発達障害のある児童生徒への支援事業

文部科学省の公募により採択された、発達障害のある児童生徒を支援する新規事業を実施します。研修会の実施や、一人一台端末を活用した学習支援を通じて、子どもたちの可能性を最大限に伸ばします。



発達障害のある児童生徒への支援事業



〈主な質疑のみ掲載しています。〉

常任委員会では、 こんな議論になりました

文教厚生 常任委員会

学校給食調理場の建設費財源

Q当初予定していた交付金が採択保留となった理由は。

A5年度から手順通りに準備を進めてきたが、国の交付金予算が大幅に減少され、多くの自治体で採択保留が生じた。国の財源不足から採択の見込みが薄いと判断し2次申請は断念した。

新しい地方経済・生活環境創生交付金（※1）

Qチップ工場の建設まで期間がなく大変厳しいが、交付金の繰り越しはできるのか。

A内閣府に確認したところ、本事業は、7年度交付金を活用するものであり、明許繰越の対象となる。

Q将来的に市が財政負担を負わない保証がない点に、この事業に対する懸念がある。契約を明確にできない場合、かなり危うさを抱えていること

について、どう考えるか。

A契約の中で、必ずその条項を入れる。

QSPC（※2）の運営可否の見極めには、金融機関の審査・指導が重要だが、どのように考えているか。

A融資を行う金融機関と直接協定を締結する予定である。



イルミネーション導入予定の園部駅

※1 新しい地方経済・生活環境創生交付金とは

地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を強力に後押しするもの。

※2 SPCとは

Special Purpose Companyの略で、特別目的会社と訳される。

SPCは企業で運用する事業が特定されており、その特定された事業のために設立された法人のことをいう。

SPCの主な目的は、企業の特定の資産を切り離し、特定の事業をその資産だけを利用して運用することである。

総務 常任委員会

南丹市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

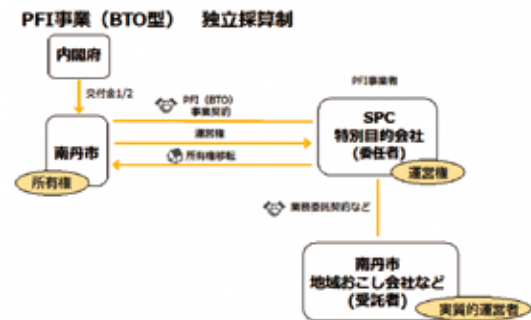
Q職員に対して、育児休業、介護休業等の取得についての意向確認をされるということか。

A最近では男性の育児休業も増えてきており、男性についても育児休業取得等の確認をする。

7年度一般会計補正予算（第4号）

Q「南丹市地域おこし会社」設立のための出資金として510万円を予算化するにあたり、財政当局として担当部局との事前協議はあったのか、また、出資の決定に至った経緯は。

Aこの予算要求に際して、担当課に対してヒアリングを行った。市としての負担はこの510万円以外はなく、必ず収益が出ることで認め



直接的に財務負担がない独立採算制のPFI事業の仕組みを示した図

ざるを得なかった。

Q出資金について、基金繰入金で賄うことに関して、財源を精査する中で財政調整基金の他になかったのか。

A今回は、提案まで時間がなかったため全体の精査はできず、財政調整基金を取り崩しせざるを得なかった。

産業建設 常任委員会

八木町大敷浄水場の廃止

Q跡地活用について、予定はあるのか。

A企業誘致等をするため、市長部局の管理とする。現在、農林商工部で関連企業と調整中である。

企業版ふるさと納税による寄附金を基金へ

Q年度を越して活用できるため、使い勝手が良くなるという認識でよいのか。

A基金として、ある程度プールすることにより、大きな事業を有効に推進できるメリットのある条例改正である。

園部公園再整備

Q公園費について、当初予算と別の部分で5391万円の増額だが、今から発注して全国都市緑化フェアに間に合うのか。

A現在、工事発注で残ってい

るのが遊具と遊具の基礎部分である。早期に発注し、年度内を目指して進めていく。

かやぶきの里公衆トイレ調査業務

Q調査費の予算計上について、最終的にはどういう形を目指すのか。

A現在、トイレが不足している状態であり、今回の補正で水源を確保し、来年度以降、持続可能な観光推進補助金を活用して建設を進めていく。



導入予定の園部公園遊具イメージ

反 対

日本共産党議員団 河野 啓介 議員

すべての説明が曖昧な内容に終始し、実現は危うい。国の交付金と民間資金の調達という枠組みがあって、それに事業のメニューを考えたもの。本市財政からの持ち出しはないということが強調されたが、補助金があるからと、曖昧な計画で事業を起こすことは、あらたな政治不信につながる。

反 対

新誠会 面村 好高 議員

2カ年で大型蓄電池、太陽光発電、木質チップ工場などをつくる総額約27億円を超える大型事業であるが、唐突に9月議会途中に追加上程された。今回はP F I 事業の独立採算型を採用するが、サービス購入型と違い、明確に収益性が高い事業でなければ成立しない。2回の連合審査会では収益性が全く示されず、将来、負の遺産となる事業であり反対する。

反 対

つなぐ 山下 秋則 議員

本補正予算案の環境計画推進事業は、市民意識調査で明らかな市民の望む施策とは大きな隔たりがあり、事業実施の必要性に大いに疑問である。また、内容においても具体性に欠け、収支見込みや事業が破綻した場合の市にかかるリスクなどの検討がなされていないなど事業実施に危うさがある。交付金ありきとも言える本事業とその予算には反対である。

反 対

新誠会 樋口 浩之 議員

当議案は、説明内容が不明確であったため2度の連合審査が行われたが、2度目の説明においても説明責任が十分に果たされたとは言えないものであった。議員は事業の目的・効果・リスクを明確に把握し、市民に対して納得のいく説明を求める責務を負う。不十分な説明のまま賛成することは職務放棄に等しい。以上の理由から本議案に反対する。

賛 成

活緑クラブ 下間 康広 議員

今後の財政状況を鑑みると、合併特例債の終了など見通しは厳しいものである。今回の事業は民間活力を活用した財務投入の少ない手法として捉えることができる。S P C業者の破綻や施設が残るリスクなどは市が出資する地域会社による営業監視としっかりとした契約を結ぶことで回避でき、本市の課題である森林環境改善に寄与するものと考え賛成とする。

討 論



討論とは？

議会の討論とは、お互いに議論を交わし合うことではなく、自らの意見を表明し、賛否の理由を述べることにより自分の意見に同調することを他の議員に求めることです。

※記事は原則として各議員から提出された原稿を掲載しています。

6年度南丹市一般会計歳入歳出決算認定

反 対

日本共産党議員団 河野 啓介 議員

市役所の職員体制の是正が急務。合併特例債や大型補助金を使い切ることが目的化し、無理な事業計画になっている。自治体の本旨として、地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることが基本とされるなか、住民の日々の暮らしに関わる福祉部門の縮小を含むこの決算は、間違った方向に進んでいる。

6年度南丹市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

反 対

日本共産党議員団 河野 啓介 議員

「国保南丹みやま診療所」は市の直営になって以来、経営規模の縮小が続き、その在り方は悪循環に陥いるなか、美山町の市民には医療への不安が大きく広がっている。これは市当局側の失政に原因があるとして、これまでも根本的な発想の転換を求めてきたが、今回の決算は従来の延長線上のものである。

6年度南丹市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定

反 対

日本共産党議員団 小林 毅 議員

介護保険料基準額が月額6860円へ500円（7.8%）値上げされた。府下14市で一番高く、京丹波町より月985円、亀岡市より1060円も高い。保険料増収額は7098万円。これが積み立てられ残高は3億3千万円に達している。値上げしなくても十分いけた。保険料をとり過ぎている。負担軽減策の具体化が必要である。

7年度南丹市一般会計補正予算（第4号）

賛 成

活緑クラブ 八木 信樹 議員

外部からの投資を呼び込むべきとの声を多く聞いている。本補正予算は、国の内示を受けた大型事業であり、木質チップ工場や蓄電池整備など、本市の負担を抑えつつ地元産業の活性化と防災力の強化などを図るものである。本市の出資は、第三セクターを設立することを目的としたものではなく、外部投資を積極的に誘致し、市全体の活性化を図るものである。

賛成全員で可決・認定した議案

区分	件名	結果
議案	南丹市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決
	南丹市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	
	南丹市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	
	ふるさと南丹応援基金条例の一部改正	
	南丹市道路路線の認定	
	南丹市道路路線の変更	
	南丹市道路路線の廃止	
	7年度南丹市一般会計補正予算（第3号）	
	7年度南丹市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
	7年度南丹市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	
	7年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	
	7年度南丹市水道事業会計補正予算（第1号）	
	6年度南丹市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
	6年度南丹市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
	5年度（債務負担）市道火葬場線道路改良工事請負契約の変更	
	6年度南丹市土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
	6年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	
	6年度南丹市水道事業会計決算認定	
	6年度南丹市下水道事業会計決算認定	

反対

つなぐ 吉田 尋子 議員

事業収支計画が不明確である。交付金がつくという理由だけで事業実施するのは極めて危険である。
①市民のために必要な事業なのか②市民の幸せにつながるのか③将来の市民に負担を強いるものにならないかの3点を判断基準にすべきである。

反対

新風会 塩貝 孝之 議員

議会は市長の提案を是とするか否かを最終的に決断する責任がある。本議案について、私は納得できる説明が一つも得られず、賛成の理由も理解できない。市民に胸を張って説明できない提案には賛同できない。議員一人ひとりが南丹市の未来を左右する重大な判断を担っている。市民からいただいた負託を裏切らず責任ある決断を強く求める。

南丹市議会議員定数条例の一部改正

賛成

新誠会 樋口 浩之 議員

南丹市の主権者は南丹市民である。議員定数については、先のアンケートで削減すべきとの意見が多数を占め、議会広報紙によるLINEアンケートでも8割の市民が議員定数を多いと回答している。これは明確な民意である。議席の適正数については、さまざまな議論があるが、最終的に判断すべきは、南丹市民である。以上の理由から本議案に賛成する。

反対

日本共産党議員団 小林 毅 議員

①議員定数は、団体自治の土台に関わる重要な政治問題。最終日に提案して即決を求めるやり方は是認できない。②`身を切る改革、とは、報酬等の削減であり、議員定数減らしではない。③定数削減は、多様な住民の意見、少数意見の排除につながる危険がある。④194通の議員定数アンケートを根拠に、削減の論理展開をするのはあまりに危険である。

賛成

新風会 木村 裕 議員

4年前に議員定数は、22人から20人に削減された。今期の議員団では議会改革が積極的に進められてきたが、人口減少が進む中さらなる議員定数の削減が必要である。
全国平均でも、人口5万人未満の市の議員定数は16.5人である。議員数の減少による議会活動の水準は、議員の資質向上と活動強化で補える。改革を止めてはならない。

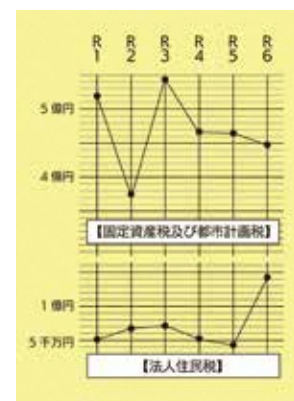
賛否の分かれた議案等

〈○は賛成 ×は反対〉

会 派 名		つ な ぐ				新 誠 会				活 緑 ク ラ ブ				日 本 共 産 党 議 員 団	公 明 党	新 風 会						
議 員 名		谷 尻 宣 雄	小 中 昭	吉 田 尋 子	山 下 秋 則	谷 尻 昌 史	前 田 義 明	仲 村 学	西 村 好 高	堤 博 明	樋 口 浩 之	八 木 信 樹	若 井 睦 巳	村 山 好 明	下 間 康 広	小 林 毅	河 野 啓 介	平 田 聖 治	木 戸 徳 吉	塩 貝 孝 之	木 村 裕	
案件・結果																						
6年度南丹市一般会計歳入歳出決算認定		認定	○	○	○	議長のため、採決に加わりません。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
6年度南丹市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定		認定	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
6年度南丹市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定		認定	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
7年度南丹市一般会計補正予算（第4号）		可決	○	○	×		×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○
南丹市議会議員定数条例の一部改正		否決	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	

Q 企業誘致が税収の底上げになっているのか

A 自動車部品関連企業の業績が落ちている



誘致企業の法人市民税納付額の推移

日本共産党議員団 河野 啓介 議員

Q 企業誘致による税収と本市全体の地方税収入の推移を見ると、40億円から41億円の中の増減となっている。昨年度は41億4700万円の決算であった。市長自身が「税も底上げしながら、全体で使っていくという流れを想定する」としているが、実態はそういう状況にはなっていないのでは。

A 法人市民税は企業の収益に左右されながら額が変わってくるが、特に市内での比較的大きな自動車部品関連の企業の業績がかなり落ちてきている。



Q 今後の人口減少対策・関係人口対策の方向性は

A 南丹市の魅力を再評価し、移住策につなげていく



整備が望まれる脆弱な治山ダム下流水路

活緑クラブ 下間 康広 議員

Q 本市との関係性を作り、人口総数につなげていく観点から「二地域居住制度」に取り組むべきでは。

A 全国的に取り組む事例が少なく、まずは国がインパクトのある政策を打ち出すべき。本市としては移住定住・空き家対策に一定の積み上げはあるが、国策のメリットにも注目していきたい。

治山ダム下流水路について

Q 昨年度、治山ダム下流水路の整備について質問したが、進捗は。

A 大雨にて被害の出た箇所については、府事



その他の質問

- ・バス停の上屋設置について

業により上流に1基、8年度には下流に1基設置予定。他の箇所もふまえ下流水路の具体的な方策は固まっているが府と協議、協力しながら進めていきたい。

機能別消防団（OB団員）について

Q 平日昼間の有事に対し団員確保が問題となっている。8年度に機能別消防団が設立されるが活動想定は。

A 団員同様の公務補償のもと、小型ポンプ設置、ホース延長など初期消火対応を想定している。

Q 外国人急増への受け入れ体制の整備は

A 多文化共生の仕組みづくりを進める



多文化共生社会の実現

新風会 しおがい 塩貝 孝之 議員

Q 外国人労働者の市内企業における雇用状況や推移は。

A 2年の46人から7年には329人と増加している。今後の雇用予定や課題についてアンケートを実施し分析中。

Q 通勤者も多く、移住につながる取り組みが必要ではないか。

A 約半数が通勤者である。移住につながる可能性があり、企業、地域と連携して支援策を検討する。

Q 受け入れ許容規模やサポート体制は。

A 本市としても体制づくりが必要。ごみ出しや住まいの確保、日本語教育など支援強化が



Q 防災に対する備えは充分か

A 災害発生時に迅速な対応で被害を最小限に抑える



「非常用持出袋」 万が一の時の備えに

公明党 きど 徳吉 議員

Q 9月1日は「防災の日」である。国民一人一人が自然災害への認識を深め、日頃から備えをしておくことが求められている。本市は広大な面積を有しており、いざと言うとき全てに対応できるか、難しい問題と認識している。本市における防災に関する考えは。

A 行政は、地震、台風、水害等の自然災害から住民の生命、財産を守ることが最大の責務であると認識している。平時から災害への備えと災害発生時の迅速な対応、被害を最小限に抑えることを第一の目的としている。



その他の質問

- ・市道及び広域農道管理について
- ・日吉支所（現）の今後について

Q 報道機関の市町村アンケートによると、トイレの数や被災者一人当たりの居住面積で約半数の自治体が政府基準を満たしていない。課題として財政的な面とトイレの置き場所等が挙げられているが、本市の状況はどうか。

A 災害対策基本法が改正されトイレの確保、管理、食事の質向上を求めている。他にも生活空間、入浴施設、生活用水等がある。トイレカー購入、間仕切り、段ボールベッド等を備蓄している。数は順次増やしていく。財源の確保も重要であり、制度を活用して取り組む。

その他の質問

- ・南丹市過疎地域持続的発展市町村計画について
- ・新しい条例制定について

求められる。多文化共生推進委員会を設置し、課題解決を進める。

議員定数削減の是非

Q 新風会として一貫して削減を主張してきた。削減によるデメリットは少なく、施策に与える影響も低いと考える。改革を進め、削減を実現すべきと考えるが見解は。

A 市民アンケートや議会での議論を踏まえて、慎重に審議すべきと考える。定数というのが地割計算ではなくて、本市を代表し幅広く意見を反映できる体制を検討いただきたい。

Q 来年度には確実に消防団員の出勤報酬改定を

A 今後、消防委員会に諮り最終決定する



年度初めの初訓練に臨む消防団員

活緑クラブ 八木 信樹 議員



消防団員の年額報酬や出勤報酬について会派活緑クラブの議員では、市に要望を重ね、早期の報酬改定実現を訴えてきた。また、国へ行き、消防団員の年額報酬及び出勤報酬の交付税措置が講じられるよう要望してきた。近年の風水害の状況を踏まえ、来年度には、確実に消防団員の出勤報酬の改定を。

「企業立地推進課」のような専門部署を設置してどうか。
他の自治体の状況も見ながら専門部署の設置について、今後の課題としたい。

Q 带状疱疹ワクチン任意接種費用助成の考えは

A 任意接種に伴う費用の一部助成の方針はない



带状疱疹ワクチンの定期接種チラシ(厚生労働省)

公明党 ひらた せいじ 聖治 議員



今年度4月から予防接種法に基づき、65歳以上の方などへの带状疱疹ワクチンの予防接種が定期接種になった。带状疱疹ワクチンを接種することによって带状疱疹やその合併症を予防できる。国の定期接種は原則65歳の人と7年度から11年度は、経過措置として70歳から5歳刻みの年齢の人が対象となる。そのため、例えば現在66歳の人は70歳を迎える4年後まで接種を待つ必要がある。

66歳以上の市民を対象に定期接種の対象年度を待たずにワクチン接種できないか。今年度限りの助成事業としてでもできないか。
国の定期接種には一定の予算措置もされるが、独自の任意接種には補助はなく、財政的に厳しい状況である。

その他の質問

- ・船岡浄水場におけるPFASの検出について
- ・ジェンダー平等について

Q 上下水道料金改定までのスケジュールは

A 市民の皆さんへ広く周知し、理解を求める



料金改定等が審議された上下水道事業審議会

つなぐ 谷尻 のぶお 宣雄 議員



上下水道事業審議会において、上下水道料金改定等の審議がされているが、今後、料金改定に向けたスケジュールについての考えは。
上下水道事業は独立採算という立場にある。今日まで、一般会計から繰り出し、経営を維持してきたが、物価高騰などの影響により、大変厳しい経営状況となった。そのような中、今年の5月8日に審議会に料金改定等を諮問し、一定の議論を経て、現在、答申に向けての動きとなっている。答申を受け、審議会の意見

見を参考にし、料金改正案や関係条例を作成し、12月議会に議案を提出する予定である。12月議会で一定の結論、可決をいただけたら、1月以降、広報をスタートさせる予定である。
審議会では直接負担いただく市民の皆さんへ分かりやすい説明を行うようにとの意見もあり、そのためには市のホームページや広報紙、改定内容が分かるチラシを各戸に配布するなど方法を検討し、広く周知できるように半年以上の周知期間を設け、料金改定を実施する予定である。

その他の質問

- ・国道9号整備改良事業について
- ・合併特例債について

Q 猛暑の影響で農業の環境が懸念されているが

A 国・府の支援もあるが市の支援策も検討する



水不足を補う吸水ポリマー

新誠会 つつみ ひろあき 博明 議員



農業での水不足が問題となっており、渇水対策が必要であり、吸水ポリマーを活用し安定生産ができるよう情報共有を行うべきと考えるが。
府と相談しながら検討していきたい。

農業者が減少する中、米づくりでのコスト削減や省力化の農法として乾田直播など状況に応じた栽培方法が必要と考えるが。
乾田直播の課題もあり、実演を見ながら働きかけを検討していく。

8年10月から指定基準の見直しがあり影響は避けられないが、改正をポジティブに捉え寄附額の獲得ができればと考えるが。
国の基準で取り組んでいき、新たに獲得していければと思っており、前向きに考えている。

Q 図書館の開館時間短縮でサービスは低下しないか

A 利用者にマイナスと受け取られると理解する



開室時間が短縮される八木図書館

つなぐ よしだ ひろこ
吉田 尋子 議員



Q 開館時間はどうか。市民への影響をどう分析しているのか。
A 10時に開館し、17時に閉館とする。利用者に少なからず影響がある。
Q サービスの低下をどう補うのか。
A 財政健全化や図書館司書の確保が難しいことなどが背景にあり、職員の労働環境を守るための措置でもある。貸出冊数を増やすことや図書展示の充実、講座開設により、サービスを充実させる。また、ブックキャバン等の学校図書館連携事業なども充実させたい。

その他の質問

- ・不登校支援について

Q 低学年の学習手法をアナログ教育に回帰しては

A 発達段階に応じてアナログ教育を重視している



配布されているタブレット端末

新誠会 にしむら よしたか
面村 好高 議員



Q デジタル導入の教育先進国である北欧諸国では、成績低下や心身の不調が顕在化し、紙の教科書や鉛筆を使うアナログ教育に回帰している。特に低学年時にその傾向が強い。本市においても少しアナログ教育に回帰しては。
A 北欧諸国は極端にデジタル化へ移行した。本市では低学年にアナログである読み書きを基本とし、発達段階に応じて対応している。
Q 本市教育理念の一つ「持続可能な社会の創り手として学び続ける人材育成」には、情操教育により自己肯定感を育て、大きな志を持つための立志教育が必要と考えるが所見は。
A 情操教育で他者を理解できる子どもを育てたい。そのためには多くの信頼できる大人と出会うことが大事。学校運営協議会の熟議がその役割を担う。
Q 情操教育の一環として大阪関西万博は貴重な機会であった。亀岡市、京丹波町の小中学校は全て行っているのに本市からはほとんど行っていない。なぜか。
A 下見ができない、バスの確保、猛暑など課題と不安が多くあり、子どもの命を預かる立場としては確信が持てなかった。

その他の質問

- ・スポーツ少年団の施設使用料免除について

Q 上下水道会計は値上げしなくても破綻しない

A 現在の料金水準では経営破綻が近づいていく

種 類	価格(税込)
可燃ごみ大袋 (約45ℓ・10枚入)	792円
可燃ごみ中袋 (約30ℓ・10枚入)	660円
可燃ごみ小袋 (約15ℓ・10枚入)	330円
ビニール類大袋 (約45ℓ・10枚入)	330円
ビニール類中袋 (約30ℓ・10枚入)	220円

本市のごみ袋代は他市町の1.7～2.5倍にも

日本共産党議員団 こばやし つよき
小林 毅 議員



Q 5月、市長は上下水道料金改定を審議会に諮問した。諮問案では20%の値上げと報道されている。本市の場合、現在25億円の現金・預金がある。令和25年度に底をつくということだが、あと19年ある。水道会計の現状は、値上げしなかったら破綻するような状況ではない。
A 経費の抑制に努めているが限界である。現在の料金水準のままで、経営破綻する時期が一步一步近づいていく。審議会で、高齢者世帯から大口の利用者

その他の質問

- ・子どもの貧困実態調査をあらためて実施
- ・最後のセーフティネット生活保護の運用
- ・酷暑対策。体育館・避難所の空調設備は急務

まで、できるだけ公平に負担いただけるよう新たな料金体系を審議いただいている。

Q 南丹・京丹波のごみ袋料金は、府内の有料化しているところとの比較で1・7と2・5倍高い。また、破れやすいといった声もある。
A 広大なエリアでコストがかかる地理的要素もある。料金を下げるとなると、市の負担金を上げていくことになる。材質だが、ビニール袋は、相当品質的に安定した良いごみ袋だと思っている。

Q 市観光協会と美山DMOの関係は

A 互いに役割分担し、観光振興を目指す



美山DMOが入る京都丹波高原 国定公園ビジターセンター

つなぐ こなか あきら
小中 昭 議員



Q 市観光協会が3月にスタートした。各町観光協会や一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会（美山DMO）も設立の経緯が異なるが、今日までの美山DMOが行ってきたノウハウを市観光協会に広げていくことが重要と考える。
A 美山DMOをつくり上げてきたエネルギーは大きい。今後、旅行企画や旅行商品を組み、滞在時間を長くして市全域の観光振興を図っていく。
Q 支援学校のバスは現府立支援学校通学バスの延伸を
A 八木と日吉にストックヤード（保管場所）があるが、各町に必要と考える。しゅんせつも含め府に要望していく。
Q しゅんせつ土や建設残土をストックすることで災害時の大型土のうの作成がスムーズになるのでは。
A 八木と日吉にストックヤード（保管場所）があるが、各町に必要と考える。しゅんせつも含め府に要望していく。
Q 浚渫土などのストックヤードを作るべきではないか。
A 児童生徒の乗車時間や運転手の業務時間も現状が限度とのこと。

その他の質問

- ・市営バスダイヤについて

Q 地域課題の解決へ 関係人口活用の検討を

A 飛騨市を視察 本市の取り組みに生かしたい



内閣府での「関係人口」についての研修資料から

つなぐ やました 山下 あきのり 秋則 議員



Q 国が地方創生で「関係人口」を推進する中、飛騨市では、地域の課題を関係人口で解決する取り組みで成果を上げています。本市で導入に向け検討しては。

A 職員が飛騨市を視察し、その取り組みに驚嘆した。本市でも草刈りなどで市外の方の活動支援が一部でみられるが、関係性の取り組みを広げられたらと考える。

その他の質問

- ・市役所・支所の開庁時間の短縮について

Q 山陰本線のルート変更を心配するが

A まだ正式な見解を表する段階ではない



心配されるルート変更案

新誠会 なかむら 仲村 まなぶ 学 議員



Q 新幹線構想から山陰本線の中速鉄道化に向け、現在の園部・綾部間のルートを変更する記事が出た。もし、ルート変更がされると地域の衰退がより加速することは間違いない。現在のルートや駅を堅持しての複線高速化を望むが、今後の姿勢は。

A 南海トラフ地震での代替ルートとしても山陰新幹線構想が再び注目されている。現在の沿線が変わってしまうことは大変心配するが、まだ具体的なことが出ていないので正式な見解を表する段階ではな

その他の質問

- ・暑さ対策について
- ・校内の防犯対策について

Q 人口減少対策にマーケティングの視点を

A 検討していかなければならない



1 : 5 の法則

新誠会 ひぐち 樋口 ひろゆき 浩之 議員



Q 市民の転入や転出は自由意思によって行われるため、人口の増減には市場の原理が働く。人口減少対策には、移住定住者を本市の顧客として捉えるマーケティングの視点が有効であると考ええる。

現在の南丹市民を既存顧客、移住候補者を新規顧客としたとき、両者のコストを比較する1対5の法則がある。これは既存顧客を維持するコストを1としたとき、新たに顧客を獲得するコストは、その5倍が必要になるという法則である。本市を認知していな

い移住候補者から信頼感を獲得し、居住地の変更という大きな決断を促すコストは、既存顧客である市民の満足度を向上させる転出抑制策コストと比較して、より多くの時間や資源を必要とする。

このことから人口減少対策には、まず転出を防ぐディフェンス重視の戦略が有効であると考ええるが。

A 無作為抽出によるアンケート等により市民のニーズを調査し、大切にしながら、子育ての対応の施策も積み上げていきたい。

Q 夏休み明け前の通学路の点検・整備状況は

A 関係者の方々で対応いただいている



きれいに除草された通学路

活緑クラブ わかい 若井 むつみ 睦巳 議員



Q 通学路にスクールバスのバス停なども含めると、市内にはいろいろな場所がある。それらの整備を全部、行政だけで対応できるものではない。地域全体で考える必要があると思うが。

A 市道の除草は担当課で対応している。ただ、本市は広大な面積を有しているので、道路管理者が全てを把握し対応するのは困難である。また、教職員だけでも対応は難しいので、学校運営協議会の方々と関係者の皆さんに声をかけ、地域総がかりで対応していただいている。

指摘のあったスクールバスの停留所周りの状況については、現地を見に行った教職員が除草した。通学路の状況にもなかなか気づくことができていないこととあり、教育委員会として、気づく体制づくりを学校と共に考えていきたい。

引き続き、道路管理者等、関係機関との連携、情報共有を図るとともに、地域の皆さんには、学校への情報提供もお願いしながら、地域ぐるみで児童生徒が安心、安全に通学できる環境づくりに努めていきたいと考えている。

その他の質問

- ・本市のブランド戦略について
- ・シティプロモーションについて

委員会活動報告

総務 常任委員会・行政視察

開催日 7月22日～23日

テーマ

・関係人口・移住定住施策

調査項目

- ・飛騨市ファンクラブ事業
- ・恵那市「住みたい田舎ベストランキング」第1位を獲得された状況

視察先

- ・岐阜県飛騨市
- ・岐阜県恵那市

飛騨市では、人口減少のなか「飛騨市ファンクラブ事業」で「関係人口」の増加につなげています。また、飛騨市内にあるさまざまな困りごとの解決のために、全国の皆さんの力を借りて、楽しく交流しながら助け合いを生み出す「ヒダスケ！」プロジェクトを実施されています。



飛騨市での視察

恵那市では、月刊誌の「住みたい田舎ベストランキング」で、2年連続で第1位を獲得され、高く評価をされています。さまざまな施策として、子育て世代の支援では、高校生世代までの医療費無償化や第3子以降の祝い金の支給に加え、6年度は新たに子育てパッケージと銘打ち、見守り支援員がベビー用品を宅配する支援を開始。移住定住施策では、移住推進補助金の拡充や新設をされています。

産業建設 常任委員会

開催日 7月7日

調査箇所

- ・八木農村環境公園「氷室の郷」
- ・農村田園文化コミュニティセンター
- ・八木バイオエコロジーセンター

調査報告

「氷室の郷」について、本年度は指定管理を行わず、施設の維持管理を業務委託に切替えた現状と設置後20年以上が経過していることから、今後は譲渡や民間活用を含め方向性を検討しているとの報告がありました。委員から「早期に方針を示さなければ施設劣化を招く」との意見があり、市の回答は来年度中の結論を目指すというものでした。

農村田園文化コミュニティセンターでは、J A京都による利用形態が適法でないと判断した件を審査しました。委員からは「違法状態は看過で



所管事務事業調査

きない」といった意見があり、貸主である市の責任が重いことを指摘しました。

八木バイオエコロジーセンターについては、黒字化を目指す収支計画が説明されましたが、補助金に大きく依存する状況です。委員からは「実現可能な計画とすべき」との意見があり、市の答弁は今後新たな原料の投入や商品開発の手法を検討していきたいというものでした。

委員会としては、3施設いずれも財政健全化と地域活性化の両立が課題であり、市民への情報提供と具体的方針の決定を強く求めました。

文教厚生 常任委員会・行政視察

開催日 8月6日～7日

テーマ

・不登校児童生徒の支援

調査項目

- ・戸田型オルタナティブ・プラン
- ・教育支援ルーム「とことこぶらすのへや」

視察先

- ・埼玉県戸田市
- ・埼玉県新座市

戸田市では、「誰一人取り残さない教育」の実現を目指す「戸田型オルタナティブ・プラン」について学びました。同市では、経験や勘に頼らず、調査・研究データを基に不登校対策を実施し、小中学校全てに校内サポートルームを設置して早期支援に取り組みしていました。

教育支援センター「すてっぷ」は民間に運営委託され、オンライン上ではメタバース空間「room+」により多様



戸田市での視察

な学びの場を提供していました。県の生徒支援教室「いっぽ」との連携も進んでいました。

新座市では、大学が提案した「とことこぶらすのへや」が開設され、学生や教員が子ども・保護者を支援し、体験活動を通じて自己肯定感を育んでいました。子ども一人一人に合った居場所づくりこそが、安心して学べる環境につながると実感しました。

「広報クリニック」を受講しました

8月29日「議会広報研修会」として、府内自治体の議会広報紙を対象にしたクリニックが開催されました。広報部員8名が参加。講師から事前に編集上の改善点を示していただいた上で、当日は、優れた編集を行っている広報紙を紹介されながら、そのノウハウについての講座を受講しました。この経験を生かして「かけはし」のより良い紙面づくりを目指します。



人事案件（敬称略）

人権擁護委員

片山 千賀子（八木町）

8月22日南丹市役所で「なんとたん未来会議」私たちが考えるまちづくり」を開催しました。

今回は開催方法を見直し、参加いただく園部高校・聖カタリナ高校・農芸高校にそれぞれ議員が訪問して1〜3回の事前協議を行い本番に臨みました。

園部高校からは、ごみ問題の解決方法や自転車を活用した地域振興、過疎地での訪問看護について発表があり、聖カタリナ高校からは校内イベントの「カタリナクリスマス」を通じ、地域との関わり方や公共交通の問題について発表がありました。農芸高校からは、栽培されている農産物の活用や廃棄野菜の有効利用に

ついて発表がありました。どの発表も、その高校が感じる地域課題についてしっかりと熟議され、解決策についても生徒視点を取り入れられた素晴らしい発表でした。

また、10月15日には農芸高校の発表にあつた、廃棄野菜を使用した「摘果メロン漬物」の試食会が行われ、担当議員や市職員が参加しました。

自分たちが考案したものが形になっていく過程を経験することで、生徒の皆さんの目はいつそう輝きを増しているように見え、こういった事例の積み重ねを本市の「未来」をつくるきっかけにしていきたいと感じています。



摘果メロンの漬物



試食会の様子



なんとたん未来会議

南丹市長選挙と南丹市議会議員一般選挙の 同時執行について

議会活性化対策特別委員会から、公職選挙法における「90日特例」という手法を用いて、任期満了に伴う来年2月の南丹市議会議員一般選挙と4月の南丹市長選挙を同日に実施できれば、議会としても議員不在期間ができること等、検討すべき点があるものの、同時選挙の実施で市民の関心が高まり、投票率の向上が期待できる等、メリットが多いという報告を受け、議会として選挙管理委員会に同時選挙の実施を要望しました。

選挙管理委員会において、慎重な審議と適正な選挙執行への影響などを含めて協議を行い、選挙期日およびこれを告示する日を次のとおり決定されました。

告示日：令和8年3月8日（日）

投開票日：令和8年3月15日（日）



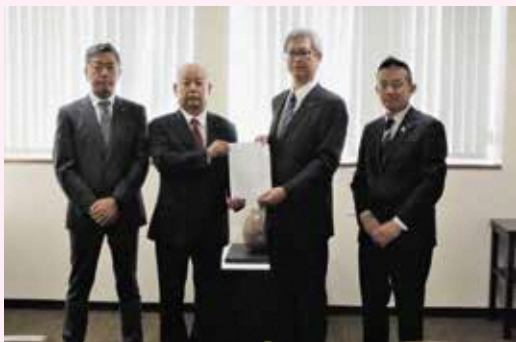
選挙管理委員長に要望書を提出

JRに要望を行いました

10月6日、西日本旅客鉄道株式会社に対して南丹市議会・亀岡市議会・京丹波町議会の議長がJR山陰本線の利便性向上に関する要望を行いました。

8年9月には、2市1町の京都丹波地域を会場として「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」が開催されますが、全国各地からの来場が見込まれており、JR山陰本線を主とする移動需要の高まりが予想されるということです。

本要望は、京都丹波地域の地域経済活動の活性化を進めるため、JR山陰本線を基軸とした施策を沿線市町が展開している現状や沿線住民の強い願いを踏まえたものであり、列車本数の復元や乗客のスムーズな乗



降について、主要要望項目に掲げています。

南丹市議会においては、9月16日に開催された全員協議会において議員への周知・確認を行ったうえで要望活動に至ったものです。

令和7年度 市長と語ろう 私たちのまちづくり が開催されました

8月20日に南丹市議会本会議場を舞台に「令和7年度 市長と語ろう 私たちのまちづくり」が市内の小学生や中学生が参加して開催されました。

小学生の部では市内7小学校（園部・園部第二・八木西・八木東・殿田・胡麻・美山）の代表者が「地域について学んだこと」をテーマに発表をされ、中学生の部ではさらに深掘りして「地域について学んだことで、将来の南丹市政に大切にしてほしいこと」をテーマに4中学校（園部・八木・殿田・美山）の代表者が発表を行いました。

小学校・中学校共に、しっかりと地域のリサーチをされ自然豊かな土地柄や、地域行事やあいさつ運動を通して感じる人のつながりがある温かい地域への思いなどが発表されました。また、地域の中でシンボリックな橋などを活用できないかななどの具体的な発表もありました。

その後、小中学生の発表に対し市長がそれぞれ答弁を行い、議論を深め児童生徒の思いが直接伝わる良い機会となりました。



議員研修会

10月2日、茨城県取手市役所より講師をお招きし、議員研修を行いました。

「議会DX推進で市民に役立つ・頼りになる議会に！～ASI（人工超知能）の時代に向かって～」と題し、今後の議会活動に生かせる実践的な講義をいただきました。



次回12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29
			本会議 (開会)			
11/30	1	2	3	4	5	6
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (一般質問)		常任委員会			
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
	本会議 (開会)					
28	29	30	31	1/1	1/2	1/3

※11月26日（水）午後5時までに提出された請願・陳情等は、12月定例会で取り扱われます。会議時間はいずれも午前10時からの予定です。日程については予告なく変更となる場合があります。
※本会議は、ケーブルテレビやインターネットで中継しています。

編集後記

9月定例会では、決算認定が大きな議題でしたが、補正予算も注目が集まりました。結果は僅差での可決。議員定数の削減も提案され、こちらも意見が分かれました。賛否を決する本会議では、かつてない数の討論が行われ、議論が深められたと思います。それを受けて、この広

報紙の紙面構成も大幅な変更を余儀なくされ、盛りだくさんの内容となりました。今後も、議會の様子がより分かりやすく伝わるような広報紙編集を心がけたいと思います。

南丹市政へのご意見箱



(K・K)

市議会だより『かけはし』 No.79
2025.11.14

■発行／南丹市議会
■編集／広報広聴委員会 広報部会
〒622-8651 京都府南丹市園町小桜町47番地
TEL.0771-68-0059 (直通) FAX.0771-63-0350
e-mail gikai@city.nantan.lg.jp
http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/



公式Facebook

広報広聴委員会

委員長／若井 睦巳
広報部会長／河野 啓介
副部会長／吉田 尋子
委員／樋口 浩之 堤 博明 平田 聖治
山下 秋則 小中 昭
広聴部会長／塩貝 孝之
副部会長／下間 康広